



ぐうぞうで いっぱいの げんばを みます

使徒 わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者は
18章 1～10節 ない。この町には、わたしの民がたくさんいるから」と言われた。(10)

良い成績をとる友だちは、先生が重要だと言う内容をのがしません。神様にレムナントとして呼ばれた私たちは、なにをしなければならいのでしょうか。なによりもまず、神様が重要だと言われる内容をのがさないようにしてはなりません。神様が特別にご覧になっている所を私たちも見れば良いのです。そこはサタンが働く現場です。

サタンは偶像を作って、人々にその偶像を崇拜させます。歴史を見てみると、独裁者は強大国をたてるたびに、全員、偶像を作って崇拜しました。そして、偶像崇拜のためにほろびました。しかし人々は、彼らがほろびた理由は、偶像崇拜が原因で起きる霊的問題のせいだということを知りません。より大きな問題は、サタンがもくろんでいるとおりの霊的問題が次世代に伝わっているということです。

偶像と霊的問題を防ぐことができるのは、ただ福音だけを伝えるまことの教会だけです。私たちの教会が偶像現場を生かす、ただ福音だけを伝える教会になるように祈りましょう。私たちはこの働きの先頭に立つレムナントになって、現場に向かって祈りましょう。サタンの計画を倒して、福音で現場を生かす子どもになるでしょう！

きょうのみことば

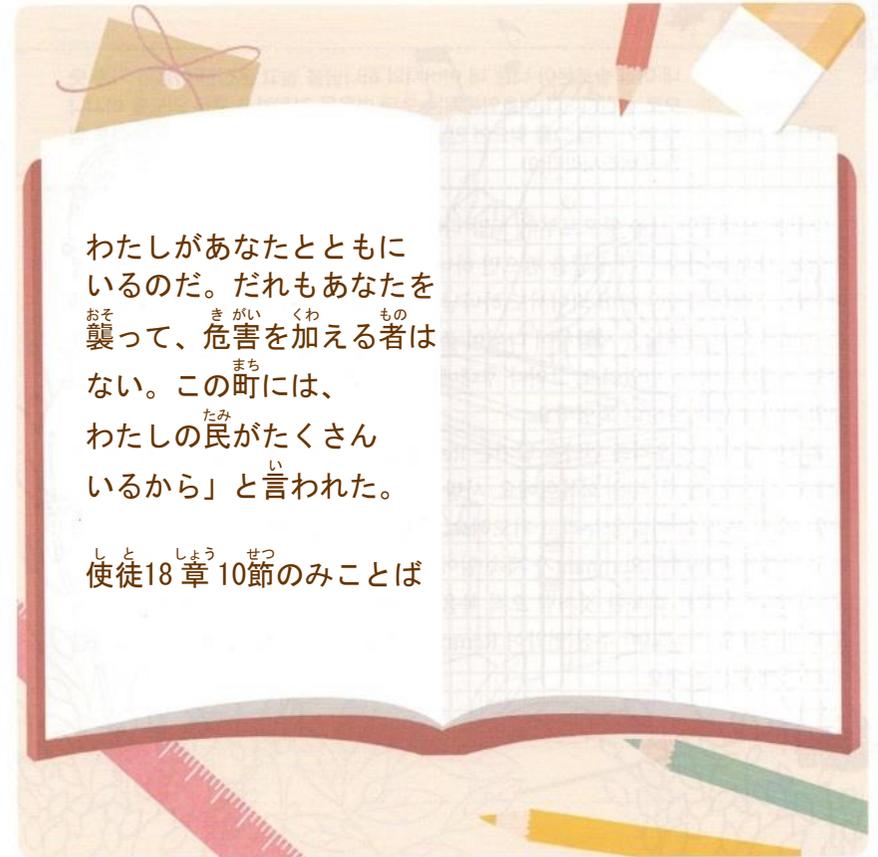
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様が特別にご覧になっている偶像現場を見る目を開いてください。ただ福音だけを伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

偶像がいっぱいの現場を見たパウロは、神様の御声を聞いて力が与えられました。きょう、そのみことばを私たちにも与えてくださっています。みことばが心に刻まれるように書きましょう。



わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたをおそ襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから」と言われた。

使徒18章 10節のみことば



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんびん
準備する資料

03

かようび

ふくいんを のこす レムナント

1歴代

28章9～10節

わが子ソロモンよ。いまあなたはあなたの父の神を知りなさい。全き心と喜ばしい心持ちをもって神に仕えなさい。主はすべての心を探り、すべての思いの向かうところを読み取られるからである。もし、あなたが神を求めるなら、神はあなたにご自分を現わされる。もし、あなたが神を離れるなら、神はあなたをとこしえまでも退けられる。(9)

ダビデは長い間、サウル王から逃げ回らなければならなかったのですが、最終的には、神様のみことばのとおり王になりました。大部分の人は、大きな答えを受けると神様の計画を忘れて、自分の欲と動機でいっぱいになります。しかしダビデは、王になっても神様を忘れることなく、より一層愛しました。ダビデの息子ソロモンも神様を愛して、ダビデが準備した神殿建築の答えを受けて、多くの人の尊敬と愛を受けました。しかし、次世代に契約を伝えることができなくて、イスラエルに分裂の種を残す王になりました。

私たちは神様に契約を残すレムナントとして呼ばれました。3つのことを祈りはじめましょう。最初に福音回復です。サタンの権威に勝つ道は福音しかありません。毎日「ただ福音」の奥義を味わって祈りましょう。2つ目、レムナント運動です。福音を理解してみことばに根をおろしたレムナントが次々と起きるように祈りましょう。3つ目、教会回復です。初代教会が教会を回復するように、ただ福音だけを伝えるまことの教会を回復して、福音を伝えるように祈りましょう。神様が与えてくださった契約が、レムナントのレムナントたちに伝えられて、神様が栄光を受けられるでしょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the lesson text.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私がただ福音、レムナント運動、教会の祝福を生涯味わって伝えるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

ダビデは神様を忘れないで、息子のソロモンに神殿建築の契約を伝えました。ダビデとソロモンの姿を完成させながら、私に与えられた契約を感謝しましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

Blank grid area for writing the lesson text.

じゆんび しりょう 準備する資料

Blank lines for writing the lesson text.



レムナントをよばれたりゅう

マルコ 1章17節 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」

全世界が偶像を作っておがむ偶像崇拜に陥っています。偶像崇拜をすれば必ず霊的問題がきます。99.9%の人が、この事実を知らないで、全世界は霊的問題で覆われるようになりました。次世代までもが失敗とほろびに引きずられていきます。このようにほろびていく時代に私たちは神様に福音を持った残りの者レムナントとして呼ばれました。神様は福音を回復する使命を与えてくださいました。いま、時代はわざわざ時代、病気時代、暗やみ文化時代になっています。これらは、これからもっとはっきりと押し寄せてくるので、それを防ぐために私たちが呼ばれました。3つの時代を防ぐのはただ福音しかありません。この時代の事実を心に抱いて祈らなければなりません。

さらに私たちがのようなレムナントを残すレムナントにならなければなりません。私たちがただ福音の中で信仰と実力を整えるなら、福音の中でみことばと祈りの答えを受けて成長します。そうすれば、また他のレムナントをただ福音で育てることのできるおとなになるでしょう。神様がこの働きのために私たちを守り導いてくださっています。レムナントと呼ばれた理由を覚えて、今日をたいせつに過ごしましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちを残りの者レムナント、残す者レムナントになるように、福音によって準備するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

みことばを適用しよう

福音を知らないゆえに起きている時代の問題を解決するのはただ福音のみことばだけです。このみことばが必要な現場を見て、私が心に抱いている福音のみことばを下に書いて祈りましょう。

わざわい時代

びょうき時代

くらぶみ文化時代

きょうのでんどう

あひと 会う人

Blank grid area for writing the daily devotion.

じゅんび しりょう 準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



05
もくようび

ペテロを とおして おきた きせき

使徒 おどり上がってまっすぐに立ち、歩きだした。そして歩いたり、はねたりし
3章1～12節 ながら、神を賛美しつつ、ふたりといっしょに宮に入って行った。(8)

医療技術は発達しましたが、病気に苦しむ人は減ることなく、むしろどんどん多くなっています。肉体の病気によっても人々は苦しみますが、精神問題による苦しみは、人をもっとつらい思いにさせます。また家族とまわりの人々が受ける苦しみも深刻なレベルになっています。しかし、人々はなぜこのような問題が起きるのかその原因がわからないまま、治す方法だけを研究しています。これらは福音を知らないために起きる問題ですから、ただ福音によってだけいやすことができます。

ペテロとヨハネが定刻祈りをするために神殿へ向かうとき、神殿の美しい門の前にいつも座っていた足のなえた人を見ました。ペテロが足のなえた人に「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と話しました。そのとき、足のなえた人の足とくるぶしが強くなって、おどり上がってまっすぐに立ち、歩きだす奇跡が起きました。そして彼はペテロとヨハネといっしょに神殿に入って、神様を賛美する霊的な力を受けました。それと同時に、多くの人の前でイエス・キリストの御名をあかしする証人になったのです。

ペテロのように、福音を知らないために起きている問題で苦しむ人に、福音の答えを伝える準備をしましょう。福音を伝えるときに起こるまことのいやしの奇跡をあかしするようになるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の現場でイエス・キリストの御名の福音が伝えられ、まことのいやしの奇跡を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様は私を通して福音を伝えるためにいまの現場に送ってくださいました。まことのいやしが必要な友だちを
考えながら福音を伝える準備をしましょう。

* 次のページの救いの道の資料を使って福音を伝えましょう。



学年/クラス

住んでいる所

私が見た友だちの姿

福音を伝えるべき理由

福音を伝えた結果

友だちのための祈り

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

06

きんようび

けいやくの りよていが はじまっています！

創世記
39章 1～5節

主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり、そのエジプト人の主人の家にいた。彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを成功させてくださるのを見た。(2-3)

聖書のレムナントのヨセフは幸運な人となったと言われています。やりたいことを思うがままに簡単にできて、行きたいところへ願うがままに辿り着くことを「幸運」と言うのでしょうか。ちがいます。ヨセフは、奴隷として売られて、監獄に入り、多くの苦勞を経験しました。いったいヨセフはどんな生活をしていたので幸運な人と言われたのでしょうか。

幸運とは、私の生活に神様がともにおられ、私の人生を通して神様の計画がなされることを言います。これは、神の子どもになる瞬間から契約の旅程を歩むすべての人に与えられる祝福です。私たちも知らない間に、ヨセフのような幸運な生活が始まっているのです。そして、この旅程に神様がともにいると約束してくださいました。ですから、契約の旅程を歩む人は、神様が造られた作品を残すようになります。

私たちはすでにヨセフのような契約の旅程を歩んでいて、幸運な生活を送っています。幸運な生活を思い切り味わう一日になるように祈りましょう。



きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。きょうも神の子どもである私は幸運な生活を送り、契約の旅程の中の一日を過ごしていることを覚えるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

幸運な生活を送っていたヨセフは、神様を見上げるサミットタイムを味わいました。いま、祈りを邪魔する私の習慣がないか確認して、新しくサミットタイムを持ちましょう。

01 定刻祈りをする時間を書きましょう。
-その時間が私が祈るのに、いちばん良い時間ですか

02 祈りの課題はありますか
-祈ろうとしても、どんな祈りをするか思い出せないことはないですか

03 祈りの状態を点検してくれる友だちや、親しい人はいますか
-ともにチームになって祈りはじめましょう



きょうのでんどう

会う人

準備する資料
